

人権劇『パパがママになる日』

大女子高評『こつき再演』!

演劇集団あり



あらすじ…

須藤和夫は、体は男性だが心は女性という「性同一性障がい」である。子どものころから心と体の違いに戸惑いながら生きてきた。自分の中で悩みながらも女性と結婚し、子どもが二人いる。しかし結婚生活も長くは続かず、子どもたちも和夫の姿に戸惑いながら生きてきた。子どもたちが小学生のころ、和夫のことが原因で学校でからかわれていた。そんな中、和夫は子どもたちの母親として生きていく決心をしたのだが、和夫と子どもたちの前には、法律的問題や周囲の冷たい視線など大きな壁が…。そして、子どもたちの決断は…?

もしあなたのパパが「ママになりたい…」と言ったら…?

もしあなたの子どもが「性同一性障がい」だと気づいたら…?

この物語は、自分の性別に違和感がある人とその家族のお話…。誰もが安心して自分らしく生きられる世の中って? 親子がお互いの存在を思いやり、理解しあうことの尊さを教えてくれるでしょう。

日時：平成29年12月 5日(火)午後7時30分から

会場：住吉小学校体育館

***駐車場はグラウンドをお願いします。**

【演劇集団あり】

昭和45年設立。米子市で最も歴史のある劇団として公演回数は105回を数える。

主に米子市周辺で働きながら、演劇を通じて人権・平和・地域などをテーマに啓発活動を行っている。

【脚本・演出：添谷 泰一】

鳥取県米子市出身。週末シナリオライター。放送作家協会会員。各ラジオドラマ脚本コンクール数回受賞。さぬき映画祭2014優秀企画作品「夏を越える少年たち」、唱歌「ふるさと」を題材にした映画「うさぎ、追いし」などを脚本・監督。

2016年夏には、演劇「昭和二十年、夏。」、2017年9月には第105回公演「わが町、米子」を上演。

***生徒・ご家族・知人の方の参加もOKです。お誘いあわせの上参加ください。**

※ 準備の都合上、参加を希望される方は、下記の申込票を11月30日(木)までに、担任に提出してください。地域の方は、電話またはFAXで申込みしてください。(当日参加も大歓迎!!)

<連絡先> 後藤ヶ丘中学校 〒683-0841 米子市上後藤1丁目1番地 ☎34-3247 FAX34-3248